NEWS RELEASE

各　位

2020年10月30日

会　　社　　名　　株式会社IMAGICA GROUP
代表者の役職氏名　　代表取締役社長　　布施信夫
（コード番号：６８７９　　東証第一部）
問合わせ先　　グループ経営管理部
メ　ー　ル　　press@imagicagroup.co.jp

ウェザーマップ、オー・エル・エム・デジタル、ロボットによる、新しい映像体験型お天気ワークショップ「Weather Wizard Academy」をSOCIAL INNOVATION WEEK SHIBUYA 2020内にて開催

CreativeとEducationを融合させた造語『Creducation』をコンセプトに、
映像体験を通して、子供と大人の「創造力」「感性」「表現力」を育む教育コンテンツを創出

当社グループの株式会社ウェザーマップ、株式会社オー・エル・エム・デジタル、株式会社ロボットは、11/7(土)から始まる、SOCIAL INNOVATION WEEK SHIBUYA 2020(※1)内にて、【天気】と【魔法の世界】を掛け合わせたワークショップ「Weather Wizard Academy」を開催いたします。

CreativeとEducationを融合させた造語『Creducation（クレデュケーション）』をコンセプトに、子供と大人が一緒に学びを育むことのできる、新しい映像体験を目指しています。今回は、参加者自身が雪や雲を発生させて触れてみることができたり、映像で気象の仕組みを学んだり、100年後の世界で天気予報を伝えるキャスター体験ができるなど、新しい映像体験を通じ、天気や気象について『学ぶ』『体験する』『表現する』 ワークショップを制作いたしました。

このワークショップは、IMAGICA GROUP各社の持つクリエイティビティとテクノロジーを掛け合わせることで実現しています。ウェザーマップが天気の教育コンテンツ・実験の企画・構成を行い、気象予報士が講師として登場、オー・エル・エム・デジタルのリアルタイムバーチャルシステム SUZURO(※2)を使用することで、最先端の映像技術を駆使したお天気キャスター体験が可能に、さらにロボットの映像制作技術をもとに空間演出を行い、会場が魔法の世界に様変わり、参加者をファンタジーの世界へご案内し、新しい映像体験を提供します。

当社グループでは、映像を軸に、社会変革にも迅速かつ着実に対応し、加速度的に変化する技術革新と共に歩み、新たな映像事業の価値創出に挑戦し続けてまいります。

【開催概要】



『　Creducation　Workshop　Weather Wizard　Academy　』

CreativeとEducationを融合させた造語『Creducation』をコンセプトに、子供と大人の「創造力」「感性」「表現力」を育む映像体験型教育コンテンツを目指しています。

今回は、【天気】と【魔法の世界】を掛け合わせたワークショップを開催。

魔法の世界で天気や気象について『学ぶ』『体験する』『表現する』新しい映像体験を提供します。

＜内容(予定)＞

・テレビでも活躍するお天気キャスター・気象予報士が講師として、天気の仕組みを講義

・雪、雲を発生させて触れてみる実験

・３面プロジェクションによる天気の映像体験

・リアルタイムバーチャルシステム「SUZURO」(※2)による100年後の天気を伝えるお天気キャスター体験　など

開催日時: 2020 年 11月7日（土）　①14：00～　②17：30～

11月8日（日）　③11：00～　④14：00～

会場: 渋谷キャスト　スペース　https://shibuyacast.jp/access/

主催：株式会社IMAGICA GROUP　/　株式会社ウェザーマップ

制作 運営:株式会社ウェザーマップ　株式会社オー・エル・エム・デジタル　株式会社ロボット

※１ソーシャルイノベーションウィークとは、東京・渋谷区と一般財団法人渋谷区観光協会、一般社団法人渋谷未来デザインが企画する国内最大級のソーシャルデザインをテーマにした都市フェス。今年で3年目を迎え、2020年は11月7日(土)～11月15日(日)まで開催される。主催はSOCIAL INNOVATION WEEK SHIBUYA実行委員会。

※２SUZUROはバーチャルスタジオコンテンツ制作のための機能やワークフローを提供するUnreal Engineのフレームワークです。フルCGや実写合成によるライブコンテンツの制作・開発、運用に必要な機能を備えており、Unreal Engineを使ってそれらを効率的に制作することができます。

必要最低限の機器・ソフトウェアがあれば、低予算・短い作業工数で個人や小規模な環境でも広大なバーチャル空間を活かしたコンテンツの制作が可能です。

また将来的にVR/ARスタジオ、デジタルヒューマン、プリビズ制作など、用途に応じた拡張性を提供します。